

支え愛マップづくり等を支援する補助金制度があります(自治会向け)

はじめてマップづくりに取り組む

災害時要支援者対策促進事業

- 支え愛マップづくり
- 避難訓練の実施
- 研修会・講演会の開催など



(補助金活用例)

- ・支え愛マップづくりのために必要な地図やマーカーなどの消耗品
- ・避難支援のためのリヤカー、担架など

補助限度額

1住民組織あたり **5万円以内**

前年度までに「わが町支え愛活動支援事業」もしくは「災害時要支援者対策促進事業」、「災害時要支援者対策モデル事業」の補助金を受けたことのない住民組織が対象です。

マップの見直し・さらなる取り組み

災害時要支援者対策ステップアップ事業

- 住民による「地域支え愛会議」の立ち上げ・運営
支え愛マップづくりで、明らかになった地域の課題を話し合う
- より実践的な訓練などの実施
高齢の方、障がいのある方、子どもがいる世帯など、支援が必要となる世帯の特性に応じた避難訓練の実施

(補助金活用例)

- ・支え愛マップづくりのために必要な地図やマーカーなどの消耗品
- ・避難所の備品(ブルーシート、毛布、発電機など)

補助限度額

1住民組織あたり **10万円以内**

すでに「わが町支え愛活動支援事業」もしくは「災害時要支援者対策促進事業」の補助金を活用され、次なるステップを行う住民組織が対象です。

YouTubeで公開中

支え愛マップづくりと支え愛マップの活用

支え愛マップづくりとその活用



- ★智頭町中原地区での取り組み
- ★伯耆町添谷地区での取り組み



<https://www.youtube.com/watch?v=HaDYnCUTO9w>

感染対策をして取り組む 支え愛マップづくりの動画

- ★南部町上鴨部地区での取り組み



https://www.youtube.com/watch?v=4ByGD_J2V_o

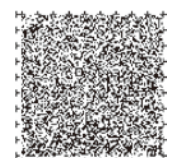
鳥取県の水害イメージ動画

浸水シミュレーションCG動画

- ★鳥取県の川の水があふれ出たら…
～あなたは避難できますか～



<https://www.youtube.com/watch?v=UCpk2MRBGa0>



音声コード Uni-Voice

発行者

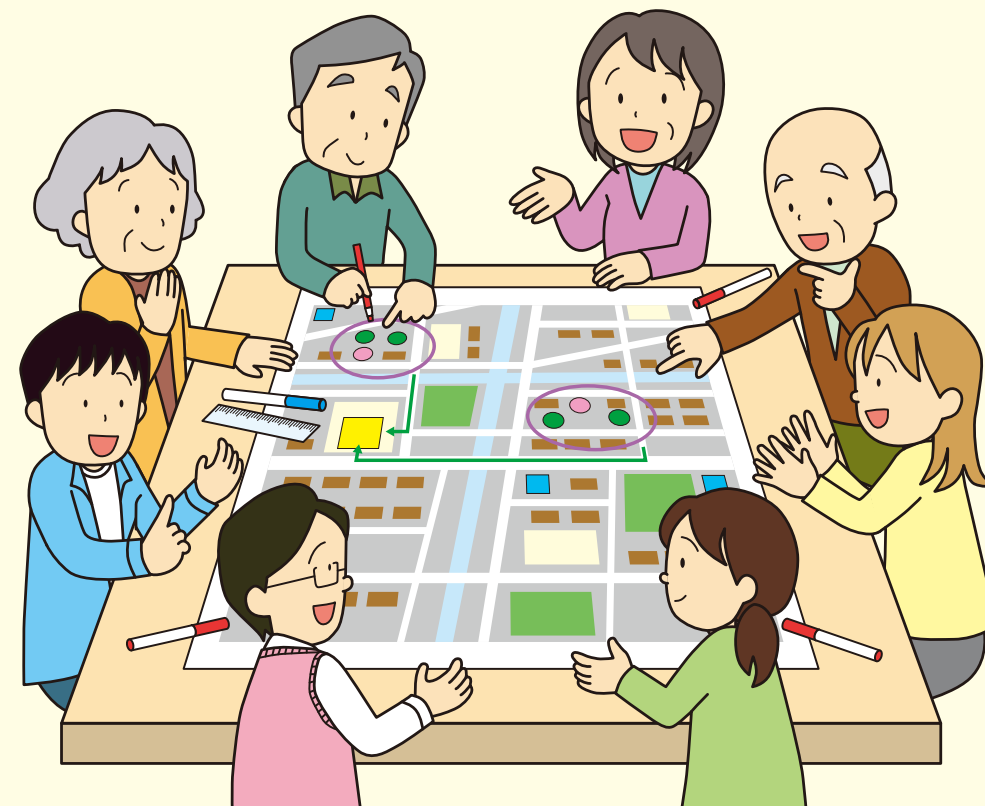
社会福祉法人 鳥取県社会福祉協議会

〒689-0201 鳥取市伏野 1729-5 県立福祉人材研修センター内
TEL 0857-59-6332 FAX 0857-59-6340

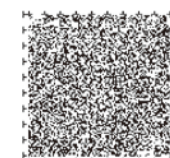
防災 × 福祉

“災害時”の支えあいを、“いつも”の支えあいに

支え愛マップづくり



このパンフレットには、『Uni-Voice』を印字しています。
各ページの音声コードをアプリで読み込んでいただくと音声流れます。



音声コード Uni-Voice

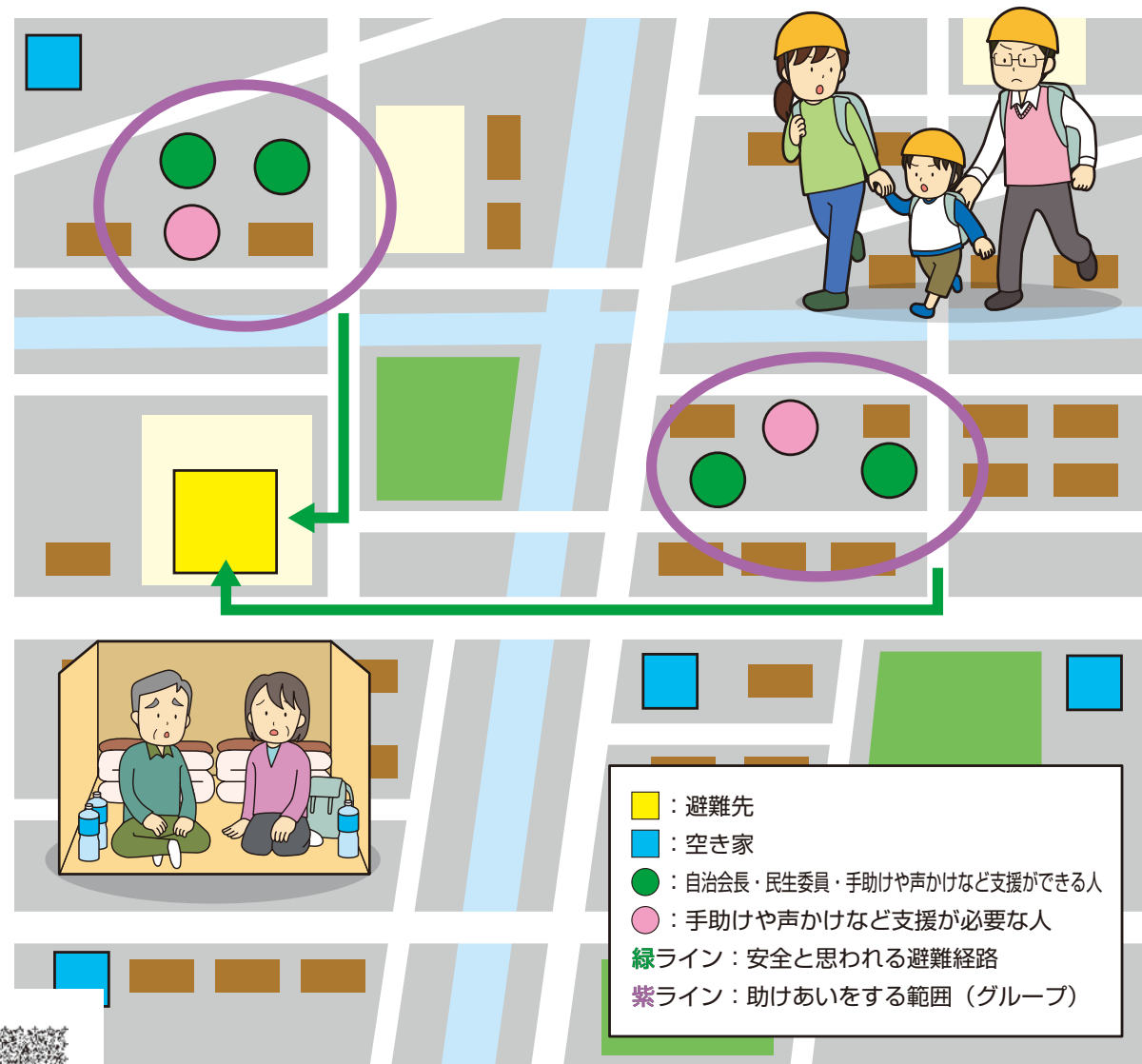
社会福祉法人 鳥取県社会福祉協議会

支え愛マップって？

支え愛マップとは、災害時に誰かの手助け・声かけを必要とする人、声かけができる人、避難先など、一連の情報を盛り込んだ地図のことです。

支え愛マップはつくることだけが目的ではなく、地域のことを話し合う中で、『日ごろからのつながり・支えあい』を考えてもらうことを大切にしています。

支え愛マップづくりのイメージ図



支え愛マップづくりのながれ

① まずは、お近くの社会福祉協議会に相談

② 支え愛マップづくりの説明・自治会での打合せ



③ 地域みんなで「支え愛マップ」づくり

- 支え愛マップの説明
- 集落内の気になるところを確認（まちあるき）
- マップづくり
- ふりかえり

支え愛マップづくりの準備物（例）

- ・ マップ作成用白地図（社協に相談ください）
- ・ 地図に重ねる透明シート・セロテープ
- ・ 油性マジック
- ・ 丸シール ※詳しくは社会福祉協議会まで



④ 支え愛マップの活用とその後の取り組み

- 見守り活動・支え愛活動
 - 地域支え愛会議
 - 避難訓練
- * 支え愛活動とは・・・
普段の暮らしの中でちょっとした困りごとを助けあうこと
- * 地域支え愛会議とは・・・
みんなで定期的に集まって、地域のことを話し合う場のこと

支え愛マップづくりから生まれた声

参加者の声

- 声かけしてくれる人とすぐ避難ができるように私も準備しておきたい
- 災害が起きたら怖いし、誰かが来てくれたらうれしい
- 高齢で元気な人もいれば、若くて心配な人もいた
- 災害時だけではなく、日ごろから声かけをしたい
- 普段から気軽に集まれる場所があったらうれしい
- できることから少しずつ取り組んでみたい！

その後の取り組み事例

地域での交流

支え愛マップづくりと避難訓練をしたところ、幅広い世代から参加があり、あまり交流がなかった世代間にも支えあう気持ちが生まれ、サロン活動がはじまりました。

また、市内を運行するバスを利用し、自治会内の高齢者が集まって買い物を楽しむ「買い物ツアー」 もはじめました。

